

# 花暦 神無月

秋の「到津の森」ってどんな所でしょう。

シンボルツリーのタブノキのあたりから森を眺めると、年中ただ緑の葉っぱの大木が茂っているだけに見えます。

まあ何か見つけるかなと右側へ道をとると、ヒヨドリバナの白い花が側面に咲いています。

園内では年々野性のままに株数が増えているうれしい花です。よく間違われるフジバカマは多数枝分かれし、葉もヒヨドリバナの長楕円形に対し、深く三つに分かれ光沢がありやや硬いので、すぐ見分けられるでしょう。

植栽されたヤマハギは真っ盛り。秋の七草に数えられる古風な美しさ。でも案外、洋風の庭にも合い、趣深い庭になるよい花木だと思っています。放っておくと立ち枯れるので、三・四年に一度は切り詰めて、更新するとよいと聞いています。

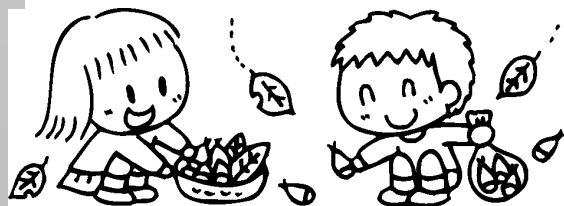
森の暗がりに入ってゆくと、シャシャンボの実が熟れて鳥と人との奪い合い。

木漏れ日を浴びて、ヤブランは薄紫の花・ノシランも白い花をたくさんつけています。

どちらもランとつくけどユリ科の仲間同士です。

森の周辺を更に巡ると、クズ・キツネノマゴ・ハキダメギク・アメリカセンダングサの花々、コクチナシ・ヒヨドリジョウゴの赤い実など、次々発見は尽きません。

次に来る時はドングリが落ちる頃かなと思いながら、帰路につきました。



文：花咲くおばさん

## 森のなかま・アオゲラ

～こもれびの新たな仲間～

9月から新たにアオゲラが“こもれびの径”に仲間入りしました。このアオゲラは、キツツキの仲間です。日本の固有種で、北海道を除く本州、四国、九州に生息しています。餌は主に昆虫類で、他にも果実などを食べています。また、キツツキの仲間なので、垂直な木でも平気で登ることができます。

今回、こもれびデビューしたのは、女の子で「ポンコ」と名付けられました。アオゲラは、頭頂全体が赤いのがオスで、後頭部だけが赤いのがメスです。最初は、こもれびの径にいるほかの鳥たちにいじめられるのではないかと心配していましたが、どうやら受け入れてもらえたようで、今では「キョッキョツ、キョッキョツ」と元気に鳴きながら暮らしています。そのうち、こもれびの径から「コンコンコンツ」と木の幹をつつく音が聞こえる日が来るかもしれませんね。

いまはただただ、ポンコがこもれびの径で、元気に生活してくれるのを願う私たち飼育員でした。



飼育展示係 石橋 佑一